

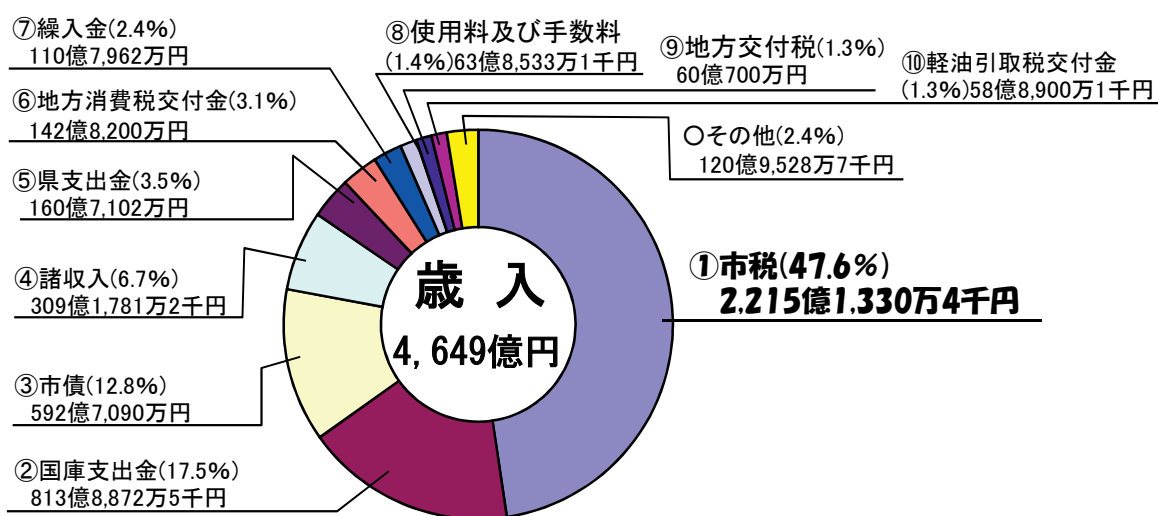
財政局 平成26年度 局運営方針

1. 主な現状と課題

年末の内閣府の月例経済報告によると、「景気は、緩やかに回復しつつある。」更に「先行きについては、輸出が持ち直しに向かい、各種政策の効果が発現するなかで、家計所得や投資の増加傾向が続き、景気回復の動きが確かなものとなることが期待される。」と示されているが、将来的な人口減少や超高齢社会の到来を目前に控え、地方財政は依然として厳しい状況が予想されています。

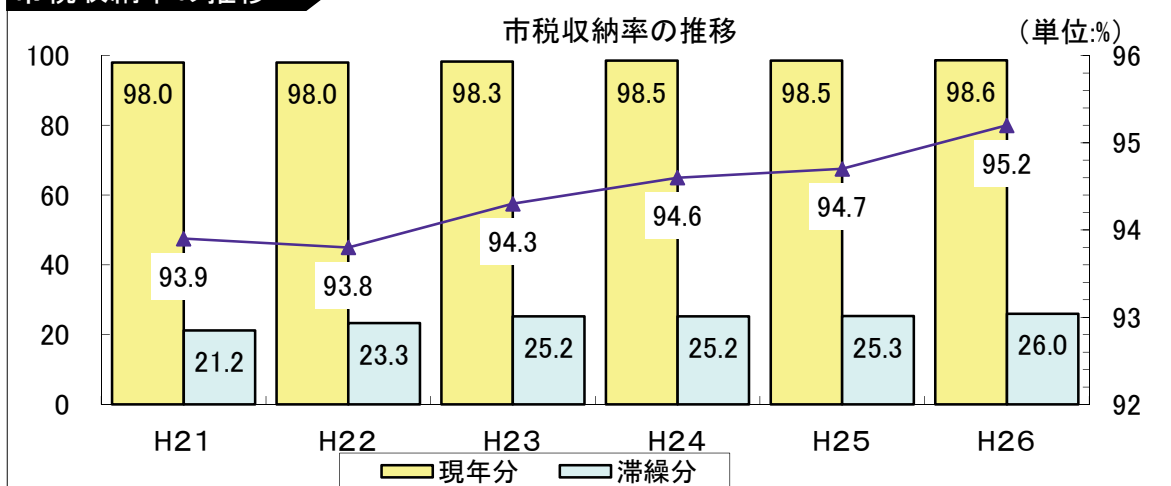
(1) 健全な財政運営を維持するためには、歳入予算の大きなウェイトを占める市税収入の確保が強く求められています。

平成26年度さいたま市一般会計予算における歳入予算の内訳



(2) 税負担の公平性確保の観点から、一層の収納対策の推進を図ることで、市税の収入未済額圧縮及び収納率向上を目指します。

市税収納率の推移



※平成23年度に、債権整理の専門組織である「債権整理推進室」を設置。

(平成26年度から「債権整理推進部」へ名称変更。)

※平成24年度以前は決算。平成25年度以降は当初予算。

2. 基本方針・区分別主要事業

税収の大幅な増が見込めない状況下において、予算や契約、税務など管理事務のより一層の効率化・適正化を図ることにより、限りある財源を有効かつ効果的に活用して事務執行を行います。

(1) 滞納の未然防止、収納事務の効率化を図ります。

*（ ）内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	26年度	25年度	説明
1	拡行	コンビニエンスストア納付の利用機会拡大事業 〔収納調査課〕	21,097 (0)	0 (0)	督促状、現年催告書等をコンビニエンスストアで納付可能とするためシステム等を改修し、納付機会を拡大することにより、納税者の利便性の向上を図るとともに累積滞納を防止

(2) 自販機設置業者の公募を推進することで、貸付料収入の拡大を図ります。

*（ ）内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	26年度	25年度	説明
2	行	自販機設置業者の公募事業 〔資産活用課〕	80,080 歳入	62,083	平成26年度の公募による予定設置台数を65台とし、全庁における貸付料収入を拡大

3. 平成26年度予算案における見直し事業一覧

(単位:千円)

課名	見直し事業名	見直しの理由及び内容 (代替事業等があれば記載)	コスト削減額
市民税課	申告勧奨郵送の見直し	公的年金受給者の確定申告不要制度該当者に対する申告書の発送方法等を見直し、予算額を縮小する	△ 2,080
市民税課	端末設定業務委託の縮小	合同課税事務所への端末移設を行う際に発生していた端末設定の方法を見直し、一部の設定を不要としたことにより予算額を縮小する	△ 1,247
市民税課	交付税関係資料作成システム改修業務委託の廃止	交付税算定用の資料を作成する際、税システムからデータを抽出し、集計ソフトを利用し作成していたが、集計結果の確認作業及び修正作業が膨大であったため、この作業を税システムへの機能追加で対応することにより保守費用が不要となったことから、予算額を縮小する	△ 756

〔区分〕 新…新規事業 拡…拡大事業 倍…しあわせ倍増プラン2013事業 成…成長戦略事業
行…行財政改革推進プラン2013事業